

## 平成30年度 「留学生が先生！」

3/18(月)に一年次生を対象に、本校の国際理解教育の一環として「留学生が先生！」が実施されました。この行事では、公益財団法人「国際理解支援協会」の全面的なご協力のもと、日本で学んでいる世界各国からの留学生に実際に来校し話をいただいています。これにより、世界の国々への理解を深めるとともに、留学生から見た日本像を通して、我が国の文化などについて考える機会になっています。

今年度は、ブルガリア、中国(台湾)、イラン、ラオス出身の4名の留学生に来ていただきました。



多くの留学生が自国の大学を卒業し、日本の大学や大学院で、それぞれの研究テーマをもって学んでいます。

各国の気候・食物・歴史・政治・経済・言葉・家族などの話や、国旗の紹介、なぜ日本に来たのか、日本に来て苦労した点、日本に興味をもったきっかけ、外国語として日本語を学んだ方法など、4人の方がそれぞれに充実した内容の話を聞かせてくださいました。生徒たちはその内容に感心しつつ、ユーモアあふれる話に時折笑いながら、熱心に聞いていました。中には民族衣装や母国の商品等を持ってきてくれた方、母国のダンスを生徒と踊った方もいました。





↑ 民族衣装を着た生徒

上水高校は国際理解教育を推進しています。1年次で、アメリカンサマーキャンプ、「留学生が先生！」を経験し、2年次では進路探索研修旅行でさらに留学生と交流し、自分たちの夢について語ります。高校時代に自分の進路について考え、様々なバックグラウンドを持つ人たちと交流する経験が、3年次の進路実現や生徒たちのその先の人生に大きな影響を及ぼしています。

お忙しい中わざわざ来校して話をしてくださった留学生の方々、「国際理解支援協会」の方々、ありがとうございました。